学校番号	3037

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	ディベート・ディスカッションⅠ	2	1年	・ライティングメソッドスピーキングプラス Standard ・Vison Quest new English Grammar workbook

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、自分の意見を持ち、論理的に表現できるように勉強していきます。表現の仕方は Speaking と Writing の２種類ありますが、論理的な表現の手順に大きな違いはありません。ライティングメソッド（啓林館）を利用し、Speaking・Writing 両方の側面で、論理的な表現を学んでいきます。その中で必要な文法事項についても並行して学んでいきます。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・決まった表現ではっきりと話された天候、時間、物の値段など、日常的に必要なことがらについて、内容を理解することができる。 ・はっきりと話されれば、駅や空港等の短いアナウンスについて自分に必要な情報を聞き取ることができる。	・有名人物の伝記や歴史上の出来事についての英文を読み、適宜辞書も利用しながら事実関係を把握することができる。 ・簡単な英語で表現されていれば、ガイドブックなどを読んで必要な情報を見つけ出すことができる。	日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。	絵、写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明することができる。	・自分のことや学校、地域のことなどの簡単な紹介文を書くことができる。 ・簡単な語や基礎的な表現を使いながら、and、but、because などで文と文をつないで、日記や説明文などまとまりのある文章を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の 4 技能について，実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して，言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて，日常的・社会的な話題について，情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり，読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Lesson 1, 2 Tourism Life	聞くこと	a: 教員による指示や助言を聞き取れている。パートナーから聞かれる質問を聞き取れている。 c: 教員による指示や助言を聞き取ろうとしている。パートナーから聞かれる質問を聞き取ろうとしている。	授業内評価
		読むこと	a: 単元における新出語句を理解できている。 b: 基本５文型や時制に注目しなら読むことができる。 c: 文章を論理的に読解しようとしている。	定期考査 提出物
		話すこと （やり取り）	b: ディスコースマーカーを効果的に用い、順序だてて物事を説明できる。 c: ディスコースマーカーを効果的に用い、順序だてて物事を説明しようとしている。	授業内評価
		書くこと	a: 基本５文型や時制の用法について理解できる。 b: 基本５文型や時制を場面に応じて使いわけられる。ディスコースマーカーを効果的に用い、順序だてて物事を説明できる。文語調の英語を書くことができる。 c: 文語調の英語を書こうとしている。	定期考査 提出物
	中間考査			
	Lesson 3, 4 Education Work	聞くこと	a: 教員による指示や助言を聞き取れている。パートナーから聞かれる質問を聞き取れている。 c: 教員による指示や助言を聞き取ろうとしている。パートナーから聞かれる質問を聞き取ろうとしている。	授業内評価
		読むこと	a: 単元における新出語句を理解できている。 b: 助動詞・受動態・不定詞に注目しなら読むことができる。 c: 文章を論理的に読解しようとしている。	定期考査 提出物
		話すこと （やり取り）	b: ディスコースマーカーを効果的に用い、順序だてて物事を説明できる。 c: ディスコースマーカーを効果的に用い、順序だてて物事を説明しようとしている。	授業内評価
		書くこと	a: 助動詞・受動態・不定詞の用法について理解できる。 b: 助動詞・受動態・不定詞を場面に応じて使いわけられる。ディスコースマーカーを効果的に用い、順序だてて物事を説明できる。文語調の英語を書くことができる。 c: 文語調の英語を書こうとしている。	定期考査 提出物
	期末考査			
2	Lesson 5, 6 Environment internet	聞くこと	a: 教員による指示や助言を聞き取れている。パートナーから聞かれる質問を聞き取れている。 c: 教員による指示や助言を聞き取ろうとしている。パートナーから聞かれる質問を聞き取ろうとしている。	授業内評価
		読むこと	a: 単元における新出語句を理解できている。 b: 動名詞・分詞・関係詞に注目しなら読むことができる。 c: 文章を論理的に読解しようとしている。	定期考査 提出物
		話すこと （発表）	b: ディスコースマーカーを効果的に用い、順序だてて物事を説明できる。 c: ディスコースマーカーを効果的に用い、順序だてて物事を説明しようとしている。	授業内評価 スピーキングテスト
		書くこと	a: 動名詞・分詞・関係詞の用法について理解できる。 b: 動名詞・分詞・関係詞を場面に応じて使いわけられる。ディスコースマーカーを効果的に用い、順序だてて物事を説明できる。文語調の英語を書くことができる。 c: 文語調の英語を書こうとしている。	定期考査 提出物
	中間考査			
	Lesson 7,8 Technology Social Welfare	聞くこと	a: 教員による指示や助言を聞き取れている。パートナーから聞かれる質問を聞き取れている。 c: 教員による指示や助言を聞き取ろうとしている。パートナーから聞かれる質問を聞き取ろうとしている。	授業内評価

		読むこと	a: 単元における新出語句を理解できている。 b: 比較・仮定法に注目しなら読むことができる。 c: 文章を論理的に読解しようとしている。	定期考査 提出物
		話すこと（やり取り）	b: ディスコースマーカーを効果的に用い、順序だてて物事を説明できる。 c: ディスコースマーカーを効果的に用い、順序だてて物事を説明しようとしている。	授業内評価
		書くこと	a: 比較・仮定法の用法について理解できる。 b: 比較・仮定法を場面に応じて使いわけられる。ディスコースマーカーを効果的に用い、順序だてて物事を説明できる。文語調の英語を書くことができる。 c: 文語調の英語を書こうとしている。	定期考査 提出物
	期末考査			
3	Lesson 9, 10 Daily Problems Traffic Issues	聞くこと	a: 教員による指示や助言を聞き取れている。パートナーから聞かれる質問を聞き取れている。 c: 教員による指示や助言を聞き取ろうとしている。パートナーから聞かれる質問を聞き取ろうとしている。	授業内評価
		読むこと	a: 単元における新出語句を理解できている。 b: これまで学習してきた文法事項を複合的に活用しなら読むことができる。 c: 文章を論理的に読解しようとしている。	定期考査 提出物
		話すこと（やり取り）	b: ディスコースマーカーを効果的に用い、順序だてて物事を説明できる。 c: ディスコースマーカーを効果的に用い、順序だてて物事を説明しようとしている。	授業内評価
		書くこと	a: これまでに学習した文法を理解できる。 b: これまでに学習した文法を場面に応じて使いわけられる。ディスコースマーカーを効果的に用い、順序だてて物事を説明できる。文語調の英語を書くことができる。 c: 文語調の英語を書こうとしている。	定期考査 提出物
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度